



「進んで考え、共に学び合う力の育成」

図南小学校では、上記の学校目標の達成に向けて、昨年度より、「郷土への愛着と地域貢献の意識を高めるための総合学習」に取り組んでおります。1学期から夏休みにかけて、4年生が取り組んだ学習の様子についてご紹介します。

4年 受け継ごう三社大祭

まずは、八戸市教育委員会から出された八戸発見ブック「世界の宝!!八戸三社大祭」を使って、大まかなことを調べました。

三社大祭は、世界文化遺産にも登録され、八戸市民にとって、とても大事な祭りです。

でも 町内に山車小屋のない 図南の子どもたちにとっては、あまり身近ではないかもしれない・・・そこで

三社大祭について、友達と協力して調べたり体験したりする活動を通して、地域の人と関わり、人々の思いを知り、これからも守って行きたいという意識をもたせたい・・・と考えました



八戸発見ブックから・・・



- ・大きさが決まっているの？
- ・だれがデザインしたのかな？
- ・作るのに何ヶ月かかったの？
- etc.

聞いてみたいことが いっぱいあるなあ

山車作りの名人に聞いてみよう



他県の山車とのちがいは、大きさと、毎年作り替えることだよ。

♪ 廿六日町山車組 委員長 橋 友昭さん 0歳から63年間 山車組に休まず参加し続けている三社大祭の第一人者です!! たくさんの方の質問に答えてくださいました。

2月くらいに決めて5月から作り始めるよ

高さ11m以内、幅4.6m以内という制限があるよ。重さはなんと20t。



いろんな人がかかわってるんだね

世界に認められた祭りなんだね

子どもたちはいろいろなことを感じたようです。



まずは、私たちが参加してみよう

路線バスを使って出発



ほくたちも、見ている人も、みんな笑顔になったね。



三社大祭をもっともっと盛り上げよう!!

三社大祭に参加して・・・ ~子どもたちの感想から~

三社大祭楽しかったね



組によって、かけ声がちがったよ。

外国の人にも良さが伝わるね。



もっと宣伝をしたい。(みんなも参加してみて)

三社大祭のことをみんなに知ってもらおう

山車絵を考えてみました。昔話をヒントにして。



すばらしさを伝える方法は、写真や新聞... そうだ! 劇で伝えよう。

ここで一句

○花がさが ビュービュー風で とばされる 工藤結有	○山車につく つなをひっぱり 動かすぞ 尾崎 粹	○山車を引く 力を合わせ 声合わせ 西田瑠子	○力入れ 暑さに負けず 山車引いた 小田瑛司
---------------------------	--------------------------	------------------------	------------------------

これまでに学んだことや、体験したことをもとにした劇を、学習発表会で行い、三社大祭のすばらしさを伝えます。お楽しみに!!